

#218



ヘリカーゼ、プライマーゼ、岡崎フラグメント 不連続 DNA 合成とプライマーの発見

https://l-hospitalier.github.io

2**019.12**

【ポリメラーゼの DNA 複製】 DNA を複製するのはコーンバーグ父子*1 が発見した DNA ポリメラーゼ I、II、III。 この酵素は既にある核酸断片の①延長しかできないし、その延長方向は②5'→ 3'方向のみ。 右図下側のように鋳型 DNA の 1 本鎖に沿って DNA の複製がフォーク(分岐点) つ向かって進めばヘリカーゼが 2 本鎖を分離しながら(分 アルフライメント

岐点は右に進む)合成が進み図下側の**リーディング鎖**(先 導鎖)では娘 DNA は連続的に複製。 しかし Watson-Crick モデルの 2 本鎖 DNA は逆並行の配置で、図上側の**ラギング**

ラギング鎖 複製フォークの進行 5'3'25'3'3 5' 図崎フラグメント 3' DNA合成の方向 3' リーディング鎖

鎖(遅れた鎖)では分岐点から遠ざかる方向に複製が進み、鋳型 DNA が短いときはすぐ DNA 端に達する。 【岡崎フラグメントの発見】 名大の岡崎令児、恒子*2 夫妻は DNA ポリメラーゼの特性から複製は一部非連続に起こると考えた。 複製中の DNA を 3H(トリチウム) チミジン液中に数秒間浸した後で放射活性を測定すると 1000~2000 塩基の短い DNA 断片 (岡崎フラグメント) に放射活性を認め、数分以上浸した場合には再合成された長い DNA 分子中に放射活性を認めた。この結果から彼らはラギング鎖では多数の短い 1 本鎖 DNA の断片が不連続的に合成され、DNA リガーゼ(ligase)により 1本の DNA 鎖に再合成されると考えた。 しかし延長することしかできない DNA ポリメラーゼがどうして岡崎フラグメントの合成を開始できるのか? 【プライマーの発見】 岡崎令児の死後、DNA 修復の際にも短鎖が発生することがわかり、短鎖 RNA が岡崎フラグメントのプライマーである証拠が要求された。 岡崎恒子らは困難な研究を遂行、検出された短鎖断片全体の約半数にあたる 10,11,12 塩基長の 3 種の RNA プライマーが岡崎フラグメント由来であることを証明した。 DNA 合成開始には 3'-OH 末端が必要で DNA、RNA、オリゴヌクレオチド、蛋白などが 3'-OH を提供できプライマー (primer、下塗り) となりうる。 これで岡崎フラグメント合成時には必ず短い RNA プライマー

に再合成。この3段階全てで誤転写修正を行うという図式が確定した。【DNA へリカーゼ】DNA を複製するには局所的にでも2本鎖をいったん分離する必要がある。 ヘリカーゼ (左図) は ATP 分解エネルギーで2本鎖を分離する必須酵素。 細菌ではヘリカーゼが2本鎖を開きながら前進するとプライマーゼがヘリカーゼと周期的に結合してプライモソームを構成、これが短い RNA プライマーを周期的に合成する。【ヘリカーゼ/プライマーゼ阻害剤】アメナビル(ASP2151)がこの酵素の阻害薬なら極めて危険(多分無知な医者をたぶらかすキャッチコピー)。 アメナビルは10年前米国の治験第1相で非回復性血小板減少との因果関係が否定できず重篤な副作用で開発中止(#103参照)。 会社を変え 2017/9 日本のみ発売。 2017 年厚労省審議会議事録*4でアメナリーフの血小板減少と QT 延長関連の記述は伏せ字で詳細隠蔽。

が作成されることが確定*3。 ①DNA ポリメラーゼⅢが RNA プライマーを延長 ②DNA ポリメラーゼⅡが RNA プライマーを延長 ②DNA リガーゼが長い DNA 鎖

^{*1} Arthur Kornberg は 1958 年ポリメラーゼ I を発見、1959 年 S Ochoa とノーベル賞(2006 年の RG Kornberg は長男)。UCSF の Thomas Kornberg は次男で 1971 年 DNA ポリメラーゼ II ,Ⅲを発見(ジュリアード出のチェリスト!)。
*² 写真は名大が世界に誇る<mark>岡崎夫妻</mark>。 岡崎令児は広島で被爆、1975 年白血病で死去(44 歳)。 *³ Okazaki T et al., Cold Spring Harbor Quant Biol 43:203-219, 1979. *⁴ 2017/5/30 厚労省薬事・食品衛生審議会 医薬品第 2 部会;第 1 議題。